

2016年
5月
May



**Koryu
Corner
News**

交流コーナーだより



公益財団法人 仙台観光国際協会 (SenTIA)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 A棟11階

TEL : 022-268-6260 FAX : 022-268-6252

EMAIL : plan@sentia-sendai.jp

【交流コーナー】

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL : 022-265-2471 FAX : 022-265-2472

EMAIL : koryuc@sentia-sendai.jp

5月の交流コーナー休室日

5月9日(月)、10日(火)

※休室日は変わることがあります。ウェブサイトでご確認ください

SenTIA Information

平成28年度 せんだい留学生交流委員会活動開始!

4月9日(土)、平成28年度のせんだい留学生交流委員の委嘱式を行いました。今年度はインド、インドネシア、フィリピン、ベトナム、モンゴル、ロシア・サハ共和国、韓国、台湾、中国の留学生が集まり、SenTIAと共に外国人支援や国際交流事業に取り組みます。アイデアと意欲にあふれる交流委員の活動にご期待ください!

交流コーナーパンフレットが完成しました!

日本語版と多言語版(日本語・英語・中国語・



韓国語・ベトナム語)の2種類を作成しました。交流コーナーの利用方法を写真付きで紹介しています。交流コーナーで配布中です。是非交流コーナーをご利用ください。

Give Awayのお知らせ

保存期限の過ぎた新聞・雑誌・図書資料などをご自由にお持ち帰りいただける期間です。

5月23日(月) ~ 5月29日(日)



Event Information

第31回「東北大学国際祭り」

留学生、日本人学生が実行委員となり開催する、多様性溢れるお祭りです。世界中の料理、パフォーマンスを楽しみながら、異文化に触れてみませんか？是非遊びにきてください！

日時：5月22日（日）11：00～16：00

場所：東北大学川内キャンパス萩ホール前

対象：どなたでも

参加費：無料

主催／問合せ：東北大学留学生協会（TUFSA）

TEL：050-3697-1327（グティエレス・トマス）

Email：tufsacontact@gmail.com

申込方法：食事券はtufsa.net/matsuriより予約可。

食事券（3食分）一般 1500円

早割券 1200円 ※5月6日（金）までに要予約

ユニセフのつどい2016 マリールイズさん講演会

ルワンダの内戦から学んだこと～いのちの尊さ、教育と平和の大切さ～を映像と“流暢な日本語”で語ります。

日時：5月28日（土）13：30～15：30

場所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール

対象：どなたでも

参加費：無料

主催／問合せ：宮城県ユニセフ協会

TEL：022-218-5358／080-5849-6072

申込方法：事前に電話でお申し込みください。

申込期間：定員（300名）になり次第、締切りとなります。

「ネパール大地震から1年 今とこれから」

シャプラニールのカトマンズ事務所長・宮原麻紀の講演とネパールの人々へ送るメッセージ作り等、仙台とネパールを繋ぐ時間を共にしましょう。

日時：5月28日（土）14：00～16：00

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

対象：どなたでも 参加費：300円

共催：シャプラニール市民による海外協力の会

シャプラニール仙台・ボンドウの会

問合せ／申込：TEL 090-3759-5904（原）

Email：yokohara0131@jcom.home.ne.jp

第8回「世界の料理を作ろう！アメリカ編」

アメリカの方と楽しくアメリカ料理を作ってみませんか？

日時：5月29日（日）10：00～14：00

場所：エルパーク仙台5F（食のアトリエ）

対象：どなたでも 定員：30名

参加費：大人1,000円／小学生までの子ども500円

主催／問合せ：ございん（料理教室）

Email：info.help.friends.2015@gmail.com

申込：FacebookまたはEmailにご連絡ください

締切：5月20日（金）※定員になり次第締切

大学教授による市民公開講座

仙台で活躍している中国出身の大学・高専教授により、最新の研究と応用についての市民公開講座を開催いたします。

日時：5月29日（日）13：30～16：00（受付13：00～）

①13：30～14：30「紛争の科学的円満解決法」

②14：40～15：40「電力の無線伝送～電源ケーブルのない時代へ」

場所：東京エレクトロンホール宮城6F 602中会議室

対象：どなたでも 定員：100名（申込不要、当日先着順）

参加費：無料

主催／問合せ：宮城華僑華人連合会 TEL：022-341-2440

今月の PICK UP

「まちなか多文化かわらばん」を発行しました



仙台市の外国人人口は今、1万人以上。皆さんにも、外国出身のおとなりさんやお友だちはいませんか？ SenTIAでは、外国人住民と日本人住民が共に暮らす「多文化共生」のまちづくりをテーマにした情報誌「まちなか多文化かわらばん」第1号～第3号を発行しました。

「自転車」「ごみ」「防災」の3つのトピックで、多文化なまちづくりに役立つ情報を掲載し、楽しく分かりやすい内容になっています。イラストレーター佐藤ジュンコさんが仙台の街なかを取材する、マンガ「ジュンコのたぶんか探検記」は必見です！

「まちなか多文化かわらばん」は約1,400の仙台市内の各自治会・町内会の会長さんあてに送付しており、外国人住民との共生について理解促進を図ります。また、仙台国際センター交流コーナーや市内公共施設で配布するほか、ホームページでもご覧いただけます。 <http://tabunkasendai.jimdo.com/>

交流コーナーで国際交流！春休み編 ～ストローで凧を作ろう～



3月27日（日）に「交流コーナーで国際交流！春休み編～ストローで凧を作ろう～」を開催しました。春休み中の小学生と保護

者の皆さんに参加いただき、アメリカ出身のジェニファーさんと凧作り体験を楽しみました。

ジェニファーさんも子どもの頃に作ったことのあるこの凧は『Tetrahedral Kite（四面体凧）』と呼ばれ、立体的な三角形がいくつか組み合わせられています。今回はストローをフレームにし、そこに凧糸を通して、外側にビニールの買い物袋を貼りました。

作業中はジェニファーさんが各テーブルを回り、皆さんのお手伝いと作り方のアドバイスをしました。親子で作業をすること1時間半、凧が完成した時の皆さんの満足そうな笑顔がとても印象的でした。

その後は、早速外で凧揚げを実践。風が弱く、思ったように凧が揚がらない様子でしたが、子ども達は元気に走り回りながら凧揚げを楽しんでいたようです。

参加者の皆さんからは、「子どもと工作を一緒にできて、国際交流もできて、とても楽しかったです。」「このような形の凧を知ったのは初めてで、面白かったです。」といった感想をいただきました。

We
Love
SENDAI

シンチャオ！

Xin chào!



ベトナムから来たファム・ティ・タン・トゥです。

生まれてから留学で日本に来るまでずっとハノイに住んでいて、ハノイが一番美しい街だと考えています。ハノイはベトナムの首都で、湖と緑に囲まれた静かな政治の中心地です。熱帯のイメージが強いですが、春夏秋冬の四季があります。東南アジアのワイルドさと旧フランスの優雅な雰囲気混在しています。景色は旧市街と近代的建築の組み合わせで、通りに沿って歩けば人が多くて忙しい街であるだけでなく、伝統的な美しさも感じることができます。

ベトナム料理といえば有名なのは米粉麺のフォーですが、私のお勧めはブンチャーです。ブンチャーは香草がたっぷり、ニンニクと唐辛子でできた甘辛いタレの中にこんがり焼いた豚肉をつけて一緒に食べる麺です。香りがすごく良くて、美味しいです。また、ベトナムのコーヒーは美味しくて安いので、コーヒーを飲み歩くことも大好きです。皆さん、ぜひハノイに来てくださいね！

2011年に交換留学生として、初めて仙台に来ました。留学していた1年間はとても素晴らしい経験をする事ができて、視野が広がりました。仙台が大好きなので2014年10月、修士課程で勉強するため、仙台に戻ってきて、東北大学に入学しました。勉強することは

このコーナーでは、
仙台で国際活動をする市民が活動
紹介や仙台の魅力を伝えます！

もちろん、勉強以外の活動にも力を入れています。今、せんだい留学生交流委員を務めていて、外国人と活動を共にする中で、視点の違いを感じながらもイベントを作り遂げるという経験をしています。また、仙台の美しいところを旅行したり、美味しいものを食べたり地元の人々と出会ったりしてきて良かったと思います。食べることが大好きなので、様々な名物を食べたことがありますが、一番好きなのは牛タンです。ベトナム人は牛タンを食べませんが食べたらかきっと好きになると思います。

また、2年半仙台にいて、温泉にとっても興味があるので、作並をはじめ、多様な所に行きました。友達と温泉に行き、ゆっくりとお湯につかると、つかの間



自分の問題を忘れてリラックスすることができます。仙台には素晴らしいことがたくさんありますが、一番好きな所は野菜や海産物を売っている朝市です。スーパーやコンビニではなく、地元の小さな市場に行けば「HOME」を感じます。ベトナムみたいな雰囲気を感じます。

仙台に来て、様々なことを勉強することができ、多様な人々に出会い、小さな国のちっぽけな存在だった私が、自信ある明るい女性に成長できたと思います。

仙台、ありがとう！